**民進党（2016年3月27日）**

**結党宣言**

「自由」「共生」「未来へ責任」―

我々は、これからの旗を高く掲げ、力強く国民とともに歩む。日本は今、人口減少、巨額の財政赤字、経済の長期停滞という構造問題に直面している。格差は拡大し、多くの国民、とりわけ子どもや若者が将来に確かな希望を持つことができない状況にある。自国の安全と世界平和をどのように実現するかが問われる中、憲法の平和主義がないがしろにされ、立憲主義が揺らいでいる。戦後70年、我々は時代の大きな分岐点に立っている。ここで道を誤ってはならない。一人ひとりが大切にされ、安心して生活できる社会、そして平和な日本を強い決意を持って実現しなければならない。国民が持つ潜在能力の高さ、次世代に責任を果たすという強い思い、そして多様性を認め合い互いに支え合う精神がある限り、いかなる困難も乗り越えることができる。こうした国民が持つ力を引き出すことこそが政治の役割である。日本には明るい未来がある。政治は、国民の信頼があってはじめて成り立つ。我々はかって、国民の信頼に十分応えることができなかった。このことを深く反省したうえで、いかなる困難な問題も果敢に決断し、結束して事に当たる強い覚悟を、一人ひとりが共有する。

本日、我々は、強い危機感と使命感を持って、野党勢力を結集し、**政権を担うことのできる新たな政党をつくる。**志を共有するすべての人々に広く結集を呼びかける。国民の信頼に支えられ、国民とともに進む、真の意味での**国民政党**となることを誓い、ここに民進党の結党を宣言する。

**民主党（2013年2月24日）**

**綱領／前文**

日本は古来より東西の文化を取り入れ、大いなる反映と独自の誇るべき伝統・文化を築きあげた。多大な犠牲をもたらしたさきの大戦からも復興を遂げた。

しかし、経済の長期停滞、少子高齢化、人口減少による国力の低下に加え、新興国の台頭等による国際環境の変化は国民に長期にわたる閉塞感と不安感を与えている。

このような状況下で発生した東日本大震災及び原子力発電所事故は、未曾有の被害をもたらし、私たちに生き方や、科学・技術・物質文明のあり方までも問い直している。

大きな変革期を迎えた今、公平・公正・透明なルールのもと、生きがいを持って働き、互いに負担を分かち合う持続可能な社会を再構築しなければならない。そして政党と国民が信頼関係を築かなければならない。私たちは、政権交代の実現とその後の総選挙の敗北を受け、あらためて原点を見つめ直し、目指すものを明らかにする。そして道半ばとなった改革を成し遂げるため、必ずや**国民政党**として再生し、**政権に再挑戦する。**

**民進党綱領**

我が党は、「自由」「共生」「未来への責任」を結党の理念とする。

わたしたちは、「公正・公平・透明なルールのもと、多様な価値観や生き方、人権が尊重される自由な社会」「誰もが排除されることなく共に支え、支えられる共生社会」「未来を生きる次世代への責任を果たす社会」を実現する。

**（私たちの立場）**

**我が党は、「生活者」「納税者」「消費者」「働く者」の立場に立つ。未来・次世代への責任を果たし、既得権や癒着の構造と戦う、国民とともに進む改革政党である。**

**（私たちの目指すもの**）

一．自由と民主主義に立脚し立憲主義を守る

**私たちは、日本国憲法が掲げる「国民主権」「基本的人権の尊重」「平和主義」を堅持し、自由と民主主義に立脚した立憲主義を断固として守る。象徴天皇制のもと、新しい人権、統治機構改革など時代の変化に対応した未来志向の憲法を国民とともに構想する。**

二．共生社会をつくる

**私たちは、一人一人がかけがえのない個人として尊重され、多様性を認めつつ互いに支え合い、すべての人に居場所と出番がある、強くてしなやかな共に生きる社会をつくる。男女がその個性と能力を十分に**

**私たちの立場**

**我が党は、「生活者」「納税者」「消費者」「働く者」の立場に立つ。同時に未来への責任を果たすため、既得権や癒着の構造と戦う改革政党である。**私たちは、この原点を忘れず、政治改革、行財政改革、地域主権改革、統治機構改革、規制改革など政治・社会の変革に取り組む。

**私たちの目指すもの**

一　共生社会をつくる

**私たちは、一人一人がかけがえのない個人として尊重され、多様性を認めつつ互いに支え合い、すべての人に居場所と出番がある、強くてしなやかな共に生きる社会をつくる。**

１「新しい公共」を進める

**私たちは、公を担う市民の自治を尊び、近代以降、官が独占してきた「公共」をそれぞれの主体に還す。地方自治体、学校、ＮＰＯ、地域社会やそれぞれの個人が十分に連携し合う社会を目指す。**

**発揮することができる男女共同参画を推進する。「新しい公共」を担う市民の自治を尊び、地方自治体、学校、ＮＰＯ、地域社会やそれぞれの個人が十分に連携し合う社会を実現する。正義と公正を貫き、個人の自立を尊重しつつ、同時に弱い立場に置かれた人々とともに歩む。**

三．未来への責任改革を先送りしない

私たちは、未来を生きる次世代のため、税金のムダ遣いを排するとともに、**国の借金依存体質を変える行財政改革、政治家が自らを律し身を切るなどの政治改革、地方の創意工夫による自立を可能とする地域主権改革を断行する。**原発に頼らない社会を目指すとともに、東日本大震災からの復興を実現し、未来への責任を果たす。

四．人への投資で持続可能な経済成長を実現する

私たちは、市場経済を基本とし、**地球環境との調和のもと、経済成長を実現する。**安全・安心を旨とした上で、市場への新規参入を促し、起業を促進する規制改革を実行する。

経済成長は幸福をもたらすものでなくてはならない。公正な分配による人への投資なくして持続可能な成長は達成できない。**持続可能な社会保障制度の確立**、生涯を通じた学びの機会の保障など人への投資によって、人々の能力の発揮を拒んでいる**格差を是正**する。それによって支え合う力を育み、**幸福のための成長を実現する。**

**五．国を守り国際社会の平和と繁栄に貢献する**

２　正義と公正を貫く

私たちは、互いの人権を尊重し正義と公正を貫き、生涯を通じて十分な学びの機会と環境を確保する。**男女がその個性と能力を十分に発揮する男女共同参画を実現し**、不公平な**格差是正**と、将来にわたって**持続可能な社会保障制度**により、すべての国民が健康で文化的な生活を送ることができる社会をつくる。

**３　幸福のために経済を成長させる**

私たちは、**個人の自立を尊重しつつ、同時に弱い立場に置かれた人々とともに歩む。地球環境との調和のもと経済を成長させ**、その果実を確実に人々の幸せにつなげる。得られた収入や時間を、自己だけでなく他者を支える糧とする、そんな人々の厚みを増す。

二．**国を守り国際社会の平和と繁栄に貢献する**

　我が国の発展は開かれた交流の中からも

私たちは、**専守防衛を前提に**外交安全保

障における現実主義を貫く。我が国周辺の安全保障環境を直視し、**自衛力を着実に整備して国民の生活・財産、領土・領海・領空を守る。日米同盟を深化させ、アジアや太平洋地域との共生を実現する。**

**国際連合をはじめとした多国間協調の枠組みを基調に国際社会の平和と繁栄に貢献し、核兵器廃絶、人道支援、経済連携などにより、開かれた国益と広範な人間の安全保障を実現する。**

たらされた。私たちは、**外交の基軸である日米同盟を深化させ、隣人であるアジアや太平洋地域との共生を実現し、専守防衛原則のもと自衛力を着実に整備して国民の生命・財産、領土・領海を守る。国際連合をはじめとした多国間協調の枠組みを基調に国際社会の平和と繁栄に貢献し、開かれた国益と広範な人間の安全保障を確保する。**

三．憲法の基本精神を具現化する

**私たちは、日本国憲法が掲げる「国民主権、基本的人権の尊重、平和主義」の基本精神を具現化する。象徴天皇制のもと、住と民主主義に立脚した真の立憲主義を確立するため、国民とともに未来志向の憲法を構想していく。**

四．国民とともに歩む

私たちは、地域社会に根ざした活動の中から課題を見いだして活動する。積極的な議論と結論の遵守を旨として、健全な党内統治を徹底する。公開・参画・対話を重んじ、広く国民との協働による政策の決定と実行を目指す。

注　①**太字**は、共通的に言及されている箇所を示す。